

三重県のり情報

＜発行＞三重県漁業協同組合連合会 指導部

(住所) 三重県津市広明町323-1 (Tel) 059-228-1205

(HP) <http://www.miegyoren.or.jp/> \*ネット上で公開しています。『養殖情報ネットワークみえ』のトップページに入力があります。

【海況=25日・栄養塩動向調査結果】

＜水温＞各漁場の水温は12.4～16.0℃、白子港の水温は平年より高め、比重は平年並で推移しています。

＜プランクトン＞現在、植物プランクトンの発生している漁場があります。今後の動向に注意してください。

＜栄養塩類＞全域で十分量あります。

【名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値(気象庁)】 25日0時～9時現在、潮位図に比べて +14cm～+28cmで推移しています。

★情報収集、普及活動、試験分析担当

＜桑名～南勢明和＞津農林水産事務所水産室

(tel)059-223-5132

＜南勢伊勢～鳥羽＞伊勢農林水産事務所水産室

(tel)0596-27-5189

＜鳥羽＞鳥羽市水産研究所

(tel)0599-25-3316

＜試験分析等＞

三重県水産研究所鈴鹿水産研究室

(tel)059-386-0163

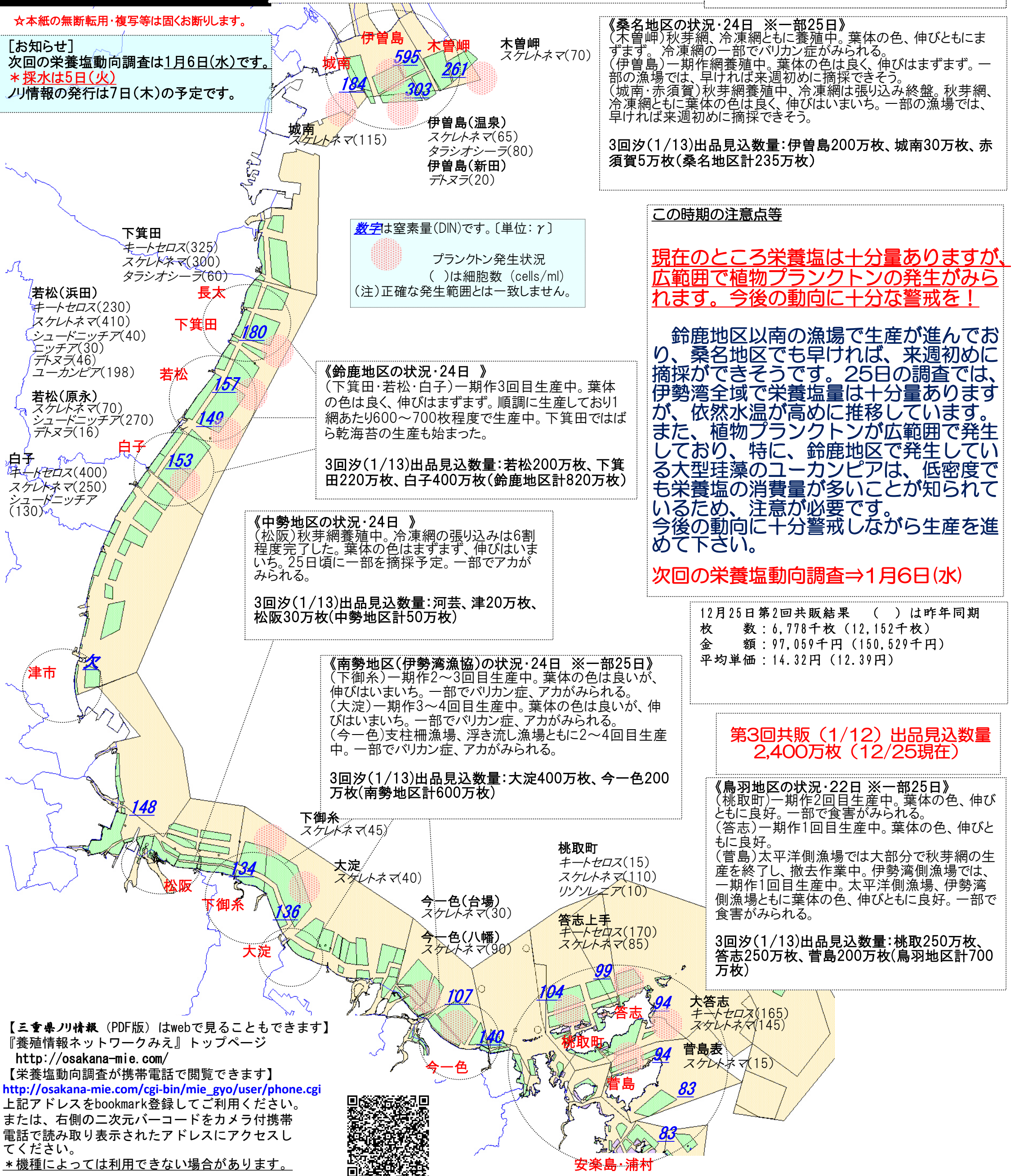
★本紙の無断転用・複写等は固くお断りします。

【お知らせ】

次回の栄養塩動向調査は1月6日(水)です。

\*採水は5日(火)

り情報の発行は7日(木)の予定です。



この時期の注意点等

現在のところ栄養塩は十分量ありますが、広範囲で植物プランクトンの発生がみられます。今後の動向に十分な警戒を!

鈴鹿地区以南の漁場で生産が進んでおり、桑名地区でも早ければ、来週初めに摘採ができそうです。25日の調査では、伊勢湾全域で栄養塩量は十分量ありますが、依然水温が高めに推移しています。また、植物プランクトンが広範囲で発生しており、特に、鈴鹿地区で発生している大型珪藻のユーカンピアは、低密度でも栄養塩の消費量が多いことが知られているため、注意が必要です。今後の動向に十分警戒しながら生産を進めて下さい。

次回の栄養塩動向調査⇒1月6日(水)

12月25日第2回共販結果 ( )は昨年同期  
枚数:6,778千枚(12,152千枚)  
金額:97,059千円(150,529千円)  
平均単価:14.32円(12.39円)

第3回共販(1/12)出品見込数量  
2,400万枚(12/25現在)

【三重県り情報(PDF版)はwebで見ることもできます】

『養殖情報ネットワークみえ』トップページ

<http://osakana-mie.com/>

【栄養塩動向調査が携帯電話で閲覧できます】

[http://osakana-mie.com/cgi-bin/mie\\_gyo/user/phone.cgi](http://osakana-mie.com/cgi-bin/mie_gyo/user/phone.cgi)

上記アドレスをbookmark登録してご利用ください。

または、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

\*機種によっては利用できない場合があります。



★り情報はweb上で閲覧されることをお奨めします。※PDFファイルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です。